



その27

<ワンランク上の行動をする>

現状維持は当然です。「身に付いた」と思って復習や確認をせずにしておくと、忘れてしまうということは人間誰しもあります。新しい情報が入ると古いものは消えていくのもよくあることです。だからと言って、同じことをやっていては成長にはならず……。ですよね。情報に対しての応用やコントロール、情報更新などが苦手だったり、時間がかかったり、出来るけど自己流だったりする特性を持つ子供たちです。そこをいかに、上手に良い形や方法で引き出していくかが大きなカギになります☆ 復習と確認は絶対必要です。更に、ひるまず恐れず、ワンランク上の事をやっていきましょう!

スイッチでは、「下のレベルには合わせません」。その分野での1番上の子のレベルを目標として活動を行います☆ (性格などの)精神的な特性と、(身体の大きさや体力などの)身体的な特徴を踏まえるのは勿論です。てっぺんにいる子は、逆に下の子に合わせたり、更なる上を目指します。現状以上の事にチャレンジすることです☆

子供たちの力を「見くびってはいけない!」。「大人の物差しと感覚で、出来る事を決めてはいけない!」大人の認識と想像以上に経験を重ね知識をつけています! **「やってみないとわからない!」 やってみてつまずいて、課題が見えます☆** 課題が見えない事には「先に進めない! 成長しない!」です! スイッチは、とにかくワンランク以上の力をつけ、**「能力の基準値をいかに上げていくか」** を目標にしています☆



その12

今日の活動ポイント!

<荷物管理と自己管理>

スイッチに来たら、平日と休日に関わらず「外に行く準備をして～」の声かけで、自分で準備をする事が必須です。

<準備するもの> **（タオルもしくはハンカチ 水筒 帽子はお家でも自分で準備をさせ、忘れず持ってきてください!）**

外出用カバン / GPS または 携帯 / タオルまたはハンカチ / 水筒 / 帽子 / ヘルプカード

<行動ポイント>

- ① 外出用カバンは自分のものなのか、スイッチに借りるのか
- ② 水筒の中は入っているのか
- ③ 帽子は必要かどうか など。

★すべて、報連相を使つての意思表示が必要です。

<帰ってきたら勿論片づけます>

- ① それぞれのものを指定場所に片づける。
- ② 荷物整理。
- ③ 着替えをするかしないかの判断。

スタッフの声かけ等はある程度行いますが、自分で出来ることはやる。出来ない事に関してどこでつまずいているかを見て、ピンポイントで声かけをし、出来るだけ自分でやるようにしていきます。

荷物管理と自己管理能力だけではなく、状況の把握力、雰囲気身に付け、見るまたは感じる力もつけていきます。

カバンの種類

肩掛けバック / ボディーバック / リュック



GPS

ヘルプカード



- 「表面」 *スイッチでの活動中という事。電話番号。
*状況説明が苦手という事。
- 「裏面」 *名前と学年
- 「中面」 *誕生日 / 血液型 / 保護者の電話番号

★「中面」の内容は普段は見れないようになっています。